

第2回（仮称）新青森市屋内グラウンド整備に係る有識者会議 議事要旨

- 日時 令和7年8月18日（月）10時00分～11時00分
- 場所 中央市民センター3階 研修室（2）
- 出席委員（5名） 一般財団法人 青森市スポーツ協会 理事長 柿崎委員
青森市スポーツ推進審議会 委員 斎藤委員
一般社団法人 青森県建築士事務所協会 専務理事 澤田委員
公立大学法人 青森県立保健大学 健康科学部 教授 篠原委員（座長）
NPO法人 青森県障害者スポーツ協会 理事長 高杉委員
- 欠席委員（3名） 青森市町会連合会 会長 佐々木委員
青森商工会議所 副会頭 森委員
公益社団法人 青森観光コンベンション協会 専務理事 六角委員
- 案件
- ・（1）利用者等からの意見について（資料1・資料1別紙）
 - ・（2）規模・機能の検討方法について（資料2）

1 事務局説明

- ・案件（1）について資料に基づき事務局より説明（資料1・資料1別紙）
- ・案件（2）について資料に基づき事務局より説明（資料2）

2 委員からの意見聴取・質疑応答

【利用者等からの意見について】

（篠原座長）

- ・利用者等からの意見の大半が規模を大きくするとのことであるが、予算の関係は一度置いておいて、実際に規模を大きくすることは可能かどうか教えてほしい。

（事務局）

- ・本市では、青森市の公共施設全体の統一的なマネジメントの取組方針を定めた青森市ファシリティマネジメント推進基本方針を平成28年に策定しており、その基本的な方針の一つとして、人口減少を踏まえた公共施設の総量抑制の観点から、今回のサンドームのような既存公共施設の建て替え等の際には、周辺既存施設との統合による複合化・集約化を検討することとしている。財政的な面からすると、既存施設との統合整備により、足し合わせた延べ床面積が新たに整備する面積を下回る場合、国からの有利な財源を活用できるというメリットもある。そのため、新青森市屋内グラウンドの規模・機能については現状、統合新病院の整備に伴い、現在のサンドームをセントラルパークに移転整備するのが基本的な考えであることから、現在のサンドームの規模・機能をベースとして検討を進めていくことになるが、本市のファシリティマネジメントの基本方針を踏まえつつ、平成4年に現サンドームが開館してから33年経過しており、その間に、むつ市や五所川原市、平川市など、屋内グラウンドの整備も県内他市町村でも進んでいる現状や、社会環境、利用者のニーズも大きく変化しているかと思うので、それらの現状も踏まえ、規模・機能について、上限下限を設けるということではなく、必要となる規模・機能についての検討をお願いしたい。

(篠原座長)

- ・土地の面積からすると、建物の規模を大きくすることによって、例えば、駐車場を大きくすることができないといった制約は考えられるのか。

(事務局)

- ・今回、現在のサンドームを新たにセントラルパークへ移転するという事で、現在の県の所有分の面積が7万4000平方メートルある。参考として、青森市のカクヒログループスーパーアリーナを設置している市の所有分の面積が5万平方メートルより少し多いぐらいである。それ以上の面積を県が所有しており、そこを移転場所の基本としている。

現在のサンドームの規模等を考え、また、意見をいただいている面積である1万平方メートル程度であれば、7.4万平方メートルの土地に1万から2万平方メートルを使つてということになることから、面積的な制約は、さほど大きくない。

(柿崎委員)

- ・サンドームのメインになる競技できる場所が一番大きいところであり、それに付随するトレーニング室やトイレ、会議室については、後で付け加えていける施設になるだろうと感じる。
- ・青森市にとって、冬期間の雪が大きなスポーツの障害になっている部分もあるので、雪のない場所で練習したいと考えている方が多い。そういう意味でも利用する人たちの気持ちを汲むと、今現在よりも少し広い施設がいいだろうと思う。
- ・サッカーも全面を取りたいという希望者が多いことから、もし可能であれば、全面を使わないまでも、半面で約60メートル四方の大きさを確保できるような基本的な大きさをベースに、様々な付帯施設をそれに付け足していくというような形で考えていけばいいと思う。
- ・現在、サッカーのサイズは大体68メートル×105メートルで、68メートルの倍の大きさである一边を130メートルぐらいにすると、半分に割った時に正方形で使いやすいような施設になると思う。確かに今よりもコストは相当高くなるということもあるが、敷地としては、そんなに邪魔しないだろうということもあるので、主練習場については、そういう広さがほしい。

(斎藤委員)

- ・様々な意見があつて、(仮称)新青森市屋内グラウンドへの期待度が非常に高いということが伺われた。
- ・練習場として考えるのか、それとも試合もできる競技場として考えるのかというところで、大きさが違ってくると思うが、練習しかできない施設ではなくて、試合もできるような施設がいいのではないかと思う。
- ・床については、現在、土であるが、多目的に利用するのであれば、人工芝がいいのではないかと思う。
- ・空調に関しては、寒い中での運動は筋肉にいろいろ影響もあるので、暖房は必要である。
- ・観覧席についても、皆さんが望んでいるので、それができるような施設、そして、そこに暖房が設置できるような形にしていければいいと考える。

- ・付帯設備としてのジョギングコースについては、青森市総合体育館にもあるが、利用する側として考えてみれば、直角に近いという感じであると市民の方が言っているので、回るときに同じ方向で回っていくことから、同じように使っていけば、どちらかの膝や足などには確かに負担であることを考えると、少し広めにして、長さももう少し長くして、なおかつ幅についても、ジョギングする方とウォーキングする方がいて、追い越すことも考えられることから、現在より、1メートルぐらいでも広めにしたほうがいいのではないかと考える。
- ・トレーニング室については、低料金でトレーニングマシンを使用できるのはありがたいことであり、マシンの充実も図って、低料金で使える状況は維持した方がいいのではないかと思います。
- ・トレーニングをするだけでなく、少し広いスペースで、鏡やマットなども設置して、ストレッチができるような部屋があってもいいのではないかと思います。
- ・会議室については、大きく取って、可動式の壁で区切ることで、利用度が高くなるのではないかと思います。
- ・現在、青森市スポーツ協会の事務所があるが、そのまま継続するのか気になった。
- ・防災機能については、青森市総合体育館に防災機能として、大きな防災備品倉庫があるが、青森市総合体育館だけではなくて、新しい屋内グラウンドにも設けて、連携を取ることを考えたらいいと思う。

(澤田委員)

- ・新たなサンドームについて、そもそも造る必要がないのではないかという意見、それから、セントラルパークでなくていいのではないかという意見があったと思うが、青森市として、セントラルパークに移転することについて、どのように考えているのか。

(事務局)

- ・セントラルパークという場所の設定についてであるが、統合新病院の整備を検討する過程の中で、青森県知事と青森市長において、セントラルパークに移転し、整備することで合意している内容であるので、セントラルパークを基本とし、他の場所を検討するということは考えていない。

(澤田委員)

- ・かなり大きなものを造ってくださいという要望が多かったと思う。
- ・サッカーや野球もできればフルサイズでという要望があったので、野球場もそれに重ねて、さらに、その周辺にジョギングコースを入れたら、それだけで1万3000平方メートルぐらいになってしまうという感じであり、それに管理諸室などを加えると1万5000平方メートル、もしくはそれを超えるような施設になってしまうのではないかと思います。
- ・そういったものが果たして現実的なのかどうかということについて、先ほど、座長から予算のことは置いてというお話もあったが、そこが肝心なところではないかと建築屋とすれば思うところがある。

(篠原座長)

- ・現状、どれくらいの規模を想定すべきなのかという話に徐々になっている段階であると思うので、次の有識者会議で、例えば、むつ市や五所川原市といった周辺の他の施設はどういった規模であるのか、また、どのような機能を取り揃えているのかを具体的に提示してもらい、話し合いができたらと思うが、よろしいか。

(事務局)

- ・県内であれば、むつ市、五所川原市、あとは平川市でも造っており、県内、また、県外も含め、いくつか規模・機能を紹介する資料を次回までに準備したいと思う。

(高杉委員)

- ・まずは、新たなサンドームを大会で使ったりするのか、それとも練習のために使うのか、それによって、規模が変わり、大会などとなると、観客席が必要になり、それに伴い人数が多くなると、付属するトイレだったり、いろいろな面で施設の面積が膨らんでしまうと思う。
- ・各団体が練習だけで使いたいのか、それとも、そこで公式の試合を行うような施設として使いたいのか、そこを明確にしないと規模が変わってしまうと思う。
- ・隣のカクヒログループスーパーアリーナと重複する施設等に関しては、ある程度重複する部分は削除してもいいのではないかと思う。
- ・カクヒログループスーパーアリーナにおいても、ジョギングコースについて、使えない時期があったり、直角に曲がっていかないといけないということがあるとは思いますが、その補足的なところを全て新たなサンドームにおいて受け入れると、施設がすごく大きくなってしまう。そこは利用時間を変えるとか、ある程度、制約をして、利用者の取りまとめをしたらいいと思う。
- ・ウォーミングアップに関して、施設に近くないと、ウォーミングアップしてから移動も大変なので、簡易のウォーミングアップのスペースであったり、多目的なスペースは、先ほど斎藤委員が言ってくれたように、鏡がある場所を使い、ダンスなどの団体が空いている時間にうまく利用したりすれば、施設的な面では活用ができると思う。
- ・身障者用のトイレについて、実際の利用者からすると、通常の練習だと、選手が20人くらい来たりした場合は、多目的トイレが1個だと全然足りない。多目的トイレの数は、基本的に付属する施設・設備なので、後々の話になるが、基本的なところは、本当に必要な面積かということが大事であると思う。

(篠原座長)

- ・高杉委員からもあったように、アリーナとの連携については、ある程度、連携をすることを前提とするのか。

(事務局)

- ・整備予定の新青森市屋内グラウンドの設置場所がセントラルパークということで、隣にあるカクヒログループスーパーアリーナについては、令和6年に工事が終わり、同年7月から供用開始した本市が所管している施設であることから、当然にして、連携を図っていくべき施設と認識している。

(篠原座長)

- ・規模に関して、実際に練習する規模だけではなくて、公式戦としてというところが話題に上がったと思うが、この辺も含めて、規模を考えていくということによろしいか。

(事務局)

- ・現状、主に野球及びサッカーで75%以上使われており、それらについては練習しかできない施設である。それに対して、今回、試合ができる規模にしてほしいという意見が各競技団体からも多くあり、委員からもたくさん意見があったので、第3回の有識者会議に当たり、例えば、野球やサッカーであれば、社会人の試合として求められるサイズ、また、児童の試合として求められるサイズは異なると思うので、それらについて、いくつか場合分けをしながら、提示したいと思う。

(篠原座長)

- ・私も一委員として意見を述べると、規模に関しては、市民の皆さんから意見があるように、ぜひ大きくできるものであれば大きくしたほうがいいのではないのかと思う。ただ、柿崎委員からもあったように、冬に雪が邪魔にならないところでプレイするということを大前提に考えていく。そして、公式戦などをできることがいいとは思ふ。
- ・機能については、いろいろ考えていかなければいけないと思うが、あくまでもプレイするサイズとして、フィールドは大きくあるべきであると思う。
- ・今後、公式戦として、サイズだけでも認められるのかどうか、余白の部分や観客席の部分など、各競技団体等でルールが決まっていると思うので、全部の競技団体の公式戦ができるかどうかについては難しいという気もしているが、できるだけ期待に応えられるような規模感があつたほうがいいと思う。
- ・実際に、多くはないが、今現在サンドームを使っていない他の競技からも意見があり、これから、いろいろなスポーツがもしかしたら生まれてくる可能性もあり、また、よく言われている多様化という言葉のように、こんなことをやってみたいという意見も、これから先、増えていくのではないかと考えており、結果的に、それが現在、使っている競技団体以外の多くの競技団体が入ってくるきっかけになるのではないかと考える。いろいろな競技ができるということは、それを一つ一つ想定しなければいけないと思うが、ある程度のスペースがあり、いろいろな競技が使えるような場所として受け入れられるような施設だったら、いいと思う。
- ・私は、いろいろなスポーツに携わっている状況であり、なかなか青森市でできないというスポーツも中にはあると思うので、そういったスポーツも受け入れてもらえたら、多くの市民に愛されるような施設になるのではないかと考える。

(澤田委員)

- ・むつ市のしもきた克雪ドームや、五所川原市と平川市の屋内グラウンドを見学してきた。また、秋田市にあるスカイドームについても調べてみたが、造るということだけでなく、それを維持管理していく段階で相当な経費が発生するので、その辺も含めて、こういった形がいいのかと計画してみようのいいかと思う。

【規模・機能の検討方法について】

(篠原座長)

- ・第3回の有識者会議で必要な施設、規模・機能の絞り込みとなっているが、どこまでを想定したらいいか。

(事務局)

- ・最終的には、市として整備方針を公表する中で、必要な施設・主要機能を決定したいと思っており、第3回の有識者会議においては、今回の有識者会議で説明した、いろいろな団体からの意見、そして委員の皆さんからの意見を集約し、必要か不要かという方向性を示したいと思う。それで、示したものを議論してもらい、例えば、規模については、大きくする、小さくする、現状維持など、いろいろ選択肢はあろうかと思うが、意見を踏まえて、まずは、必要か不要か、大きくするか小さくするかというような方向性を絞り込んでいきたい。

(篠原座長)

- ・先ほど、むつ市や五所川原市、平川市で設置されている屋内グラウンドの規模・機能を提示してもらうことをお願いしたが、そこに加えて、今、サンドームをメインで使っている競技について、公式戦などが行われているかどうかということも検討の材料になると思っているので、その点も提示してほしい。

(柿崎委員)

- ・先ほどから話題になっている建設費について、このくらいの規模であれば、これくらいが必要だという金額が、市で賄えるものなのかどうかを含めて、ある程度分かれば、検討がスムーズに進むのではないと思う。それには、トレーニング室やジョギングコースなど、様々なものを付けたときの金額との兼ね合いや、将来的なメンテナンスについても、大雑把でもいいので、金額を示してもらえれば、検討しやすい感じがする。

(篠原座長)

- ・金額については、確かにそうであるが、この有識者会議で判断するべきかどうかはすごく難しいところである。答えがなかなか出せないところではあるが、もし可能であれば、金額のことを教えてもらえたら嬉しいが、少し難しいのかなと私自身は思っている。例えば、規模や機能について、優先順位を付けておいて、最終的に予算に合致しないところは、そこまでは叶えられませんでしたということでもおかしくはないのかなと思うので、可能な限り、判断しやすい材料をもらいたい。
- ・次回の有識者会議において、規模・機能の必要性について、評価シートを用いて、皆さんで議論して、絞り込んでいくという流れでいいか。

(事務局)

- ・事務局としては、案を作成して、それに対して、いろいろ意見をもらう流れを想定している。

(篠原座長)

- ・本日欠席している佐々木委員、森委員、六角委員からも、本日の案件についての意見を聞き取ってもらい、次回の有識者会議での規模・機能の検討に活用してほしいと思っているが、それは可能か。

(事務局)

- ・本日の会議の概要の説明と合わせて、本日欠席された委員から規模・機能の聞き取りを行いたい。